

## 子どもの目線に立つ 2020&lt;第1弾&gt;

子どもたち誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障していくために

各学校において、万全の新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、子どもたちの健やかな学びを保障することが重要な課題となっています。

令和2年度全国学力・学習状況調査は中止となりましたが、調査問題には、学習指導要領の理念・目標・内容等に基づき、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力等を具体的に示すメッセージが盛り込まれています。そこで、児童生徒や教員の負担に配慮した上で、調査問題等を有効に活用し、指導の改善・充実に役立てることが大切になります。

本資料では、問題等の活用例を示すとともに、これまで本県の課題として取り上げ指導改善を促してきた内容に係る問題を示しています。これらの問題については、関連する単元の学習において取り上げるなど、内容の定着状況を見届け、継続的な指導改善サイクルの確立を図っていくことが大切です。

児童生徒質問紙調査は、例年と同様に「朝食を毎日食べている」といった家庭生活や、「自分には、よいところがあると思う」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」など、学校の学習・生活の諸側面に関する内容について問うています。都合のよい時期・時間帯に実施し、新型コロナウイルス感染症対策により例年とは異なる生活を過ごしている児童生徒の意識や状況を的確に捉え、個に応じたきめ細かな支援を行うことが必要です。

なお、質問紙調査（学校質問紙調査を含む、一部の設問のみ可）を実施した学校については、回答結果の提供に御協力をお願いします。県全体の傾向を捉え、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図っていきたいと考えています。



# 全国学力・学習状況調査の問題冊子等の活用例

## ■教科に関する調査

	完全実施	一部実施	授業活用	教員研修
利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年や学級全体、個の学力・学習状況を把握し、課題に応じた指導を行うことができる。</li> <li>○学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を理解し、今後の指導の方向性を見出すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまで課題となっていた内容等についての定着状況を把握し、課題に応じた指導を行うことができる。</li> <li>○これまでの指導改善の成果と課題を捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の実態に応じて、速やかに個別の支援をすることができる。</li> <li>○関連単元の学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求められている学力を理解し、指導改善の方向性の共通理解を図ることにより、各学年において授業改善に生かすことができる。</li> </ul>
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日を決め、マニュアルに沿って実施する。</li> <li>※問題を指定し、複数日に分けて実施することも考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組む問題を指定して短時間で実施する。</li> <li>※授業の一部の時間を使い、複数回に分けて実施することも考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の対象となる単元を確認し、授業の中で練習問題等として取扱い、必要に応じて解説する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が問題を解き、問題から具体的な取組を決める研修会をもつ。</li> </ul>
採点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解答を解答類型に分け、問題ごとに正答率を出す。</li> <li>※担任だけでなく、教員全体で協力して取り組むと効果的である。</li> <li>※児童生徒に解答を配付して自己採点をさせることも考えられる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・解答を示して自己採点をさせたり、正答について仲間と話し合わせたりする。</li> <li>※関連問題を家庭で取り組ませて見届けることも考えられる。</li> </ul>	
分析方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正答率の低い問題について誤答の分析を行い、課題を明らかにする。</li> <li>・これまでの学校の課題が改善されているか把握し、指導改善の方向性を明確にする。</li> <li>※「集計支援ツール」を活用すると、問題別調査結果や個人票を作成することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で指導改善の方向性について共通理解を図る。</li> </ul>
<p>※解説資料（国立教育政策研究所）から、出題の趣旨、領域・内容（学年）、評価の観点、解答類型、関連する問題等を捉え、分析に生かす。</p>				
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人票を一人一人に配付する。</li> <li>・課題に応じて、補充的な学習や発展的な学習を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に応じて、補充的な学習や発展的な学習を行う。</li> </ul>	

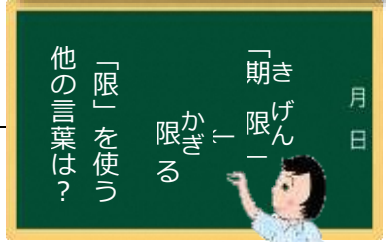
## ■質問紙調査〈児童生徒質問紙・学校質問紙〉

	完全実施	一部実施
利点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○例年とは異なる生活を過ごしている児童生徒の意識や状況を的確に捉え、個に応じたきめ細かな支援を行うことができる。</li> <li>○児童生徒の状況や学校全体の取組を経年比較して、指導改善の方向性を見出すことができる。</li> <li>※家庭で記入させて回収する方法も考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○例年とは異なる生活を過ごしている児童生徒の意識や状況について、内容絞って状況を捉え、個に応じたきめ細かな支援を行うことができる。</li> <li>○これまで課題であった内容等について経年比較して、指導改善の方向性を見出すことができる。</li> </ul>
<p>※児童生徒質問紙調査：小学校「<b>6</b>5年生までに受けた授業について」を「6年生7月までの授業について」、中学校「<b>6</b>1、2年生のとき受けた授業について」→「3年生7月までの授業について」に読み替えて問うことによって、コロナ対策による授業への影響について捉えることができる。</p>		

1 漢字を文の中で正しく使うことができるか。

漢字の読み書きは、継続して岐阜県の課題であり「新出漢字の学習は、確実に時間を確保し、熟語が出てくる場合も一字ずつ意味（訓読み）を教え、その他の語句を例示する」といった指導改善を促してきました。

本年度は、新たに「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」設問も出題されました。



「指導改善資料 子どもの目線に立つ2019」参照

2 四 (1) 部アを漢字でていねいに書きましょう。

記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることにアひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界の…

(2) 部イとウを書き直したものととして適切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えをイあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、

- 1 改らため
- 2 改ため
- 3 改め

(ウの設問省略)

自校の正答率

2四 (1) %

(2) イ %

(2) ウ %

2 主語と述語との関係に注意して、文を正しく書くことができるか。

このことは、平成30年度の県の課題として取り上げ「一文一文を丁寧に読み返す習慣を付け、日常生活や授業において、伝えたいことが相手に明確に伝わるように書いたり話したりする力を身に付ける」ための指導事例を紹介してきました。(指導改善資料「子どもの目線に立つ2018」参照)

本問は「[第3学年及び第4学年] (1) イ (キ) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。」に関わる内容なので、第4、5学年の児童にも取り組ませてみるのもよいと思います。

2 五 岩田さんは、【下書き①】で、Aの文の 部と 部とがうまくつながっていないことに気がつき、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、 の中に続きを書きましょう。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

自校の正答率

2五 %

3 条件に合わせて、考えをまとめたり提案する文書を書いたりすることができるか。

問題形式が「記述式」の設問の正答率は、「選択式」や「短答式」と比べて低くなります。

例えば、下記に示した過去の設問では、示された<条件>の全てを満たすことができない解答や無解答が見られました。過去の状況と比較して、書く指導の成果が見られたか確認してみましょう。

平成30年度 B2ニ  
献立を推薦する文章を書く(「かみかみあえ」)  
<条件>  
○【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から言葉や文を取り上げて書くこと。  
○【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書くこと。  
○書き出しの言葉に続けて、五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。

自校正答率(県)	無解答率(県)
%	%
(14.6%)	(3.3%)

平成31年度 1三  
調べたことを報告する文章を書く(「公衆電話」)  
<条件>  
○「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。  
○【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと。  
○書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

自校正答率(県)	無解答率(県)
%	%
(27.7%)	(3.7%)

R2年度  
1三 取材を通して分かったことを取り上げて書く(「インスタント食品」)  
<条件>(※他2つの条件省略)  
○【メモ①】から【メモ③】までの中から、伝えたいインスタント食品のよさを取り上げて書くこと。  
2ニ 提案する文章を書く(わたしたちができる「プラスチックの3R週間」)  
<条件>(※他2つの条件省略)  
○【本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

自校正答率	無解答率
%	%
1三 %	%
2ニ %	%

1 示された式や図の意味、計算の仕方を言葉や数、式を用いて説明できるか。

昨年度、課題が見られた問題として「示された除法の式の意味を理解している(小3(4))」を挙げ、指導改善のポイント「計算の意味や処理の“根拠を問う”」や「『解釈・説明』させる場の設定」を示しました。また、一部の児童の説明や賛同で授業を進めず、全ての子どもが自分の頭で考え、自分の言葉で説明できる授業改善を促してきました。(「指導改善資料 子どもの目線に立つ2019」参照) 言葉や数を用いて説明する力が身に付いているか、次の3問を通して確認してみましょう。

2 (2) (※問題一部・図省略)

図3の横の長さは、次のように求めることができます。

求め方  $5 \times 4 = 20$  だから、答え 20cm です。

図2の四角柱について、求め方の中の「 $5 \times 4$ 」は、どのようなことを表していますか。「5」と「4」が何を表しているのかわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

自校の正答率

2 (2)

3 (4) (※問題一部・図省略)

【はなこさんの説明】

2.51+0.36について、0.01のいくつ分かを考えると、 $251+36=287$ という整数のたし算に表すことができます。0.01が287個分なので、答えは2.87です。

0.75+0.9について、【はなこさんの説明】と同じように、ある数のいくつ分かを考え、整数のたし算に表して説明すると、どのようになりますか。言葉と式を使って書きましょう。

自校の正答率・無解答率

3 (4)

3 (2) (※問題一部・図省略)

ようこさんたちは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、図をもとに考えました。

【ようたさんの考え】の中の○のように、

㊦ Lを4等分しなければいけないのに、

【はなこさんの考え】の中の○は、

㊦ Lを4等分しているからです。

上の文の㊦、㊦に入る数を書きましょう。

自校の正答率

3

(2)

2 【知識・理解】・直径、円周、円周率の関係について理解しているか。  
・百分率について理解しているか。

このことは、これまでも課題となっており、確実な理解が図られているか見届けが大切です。

問題番号	問題の概要	正答率 (%)		
		自校	県平均	全国平均
H30A 7 (1)	円周率を求める式として正しいものを選ぶ		34.8	41.6
R 2 2 (3)	<直径、円周、円周率の関係についての理解> 円柱の側面に貼る長方形の紙の横の長さを示す適切な点を選ぶ			
H30A 8	200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ		53.1	52.9
R 2 4 (1)	<百分率についての理解> 50個の図に対して、40個を表している図を選び、40個は50個の何%であるのかを書く			

3 【技能】・異分母の分数の加法の計算をすることができるか。  
・折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができるか。

四則の混合した式や小数、分数の計算技能など、基礎的な技能の見届けが大切です。

問題番号	問題の概要	自校正答率
R 2 3 (1)	<異分母の分数の加法> $1/3+2/5$ を計算する	
R 2 4 (3)	<折れ線グラフの読み取り> 教室の気温を表している折れ線グラフから読み取ることができる事柄を選ぶ	

1 文脈に即して漢字を正しく読むことや、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるか。

漢字の読み書きは、継続して岐阜県の課題であり「各領域の言語活動において、小学校も含めた既習の漢字や語句を意図的に取り上げて指導する」「総合的な学習の時間や特別活動などの国語科の授業外で、国語で学んだ知識や技能を活用させる指導を行う」といった指導改善を促してきました。

また、歴史的仮名遣いなどの文語のきまりについては、生徒の興味・関心を大切にしながら、教材に即して指導したり、必要に応じて取り立てて指導したりすることが大切になります。



問題番号	問題の概要	自校正答率
R 2 4一①	漢字を読む（震えて）※「震」は学年別漢字配当表以外の常用漢字	%
R 2 4一②	漢字を読む（支度） ※「支」小5、「度」は小3の配当漢字、「タク」という読みは中学で学習	%
R 2 4一③	漢字を読む（吹いて）※「吹」は学年別漢字配当表以外の常用漢字	%
R 2 4二①	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（よささうな）	%
R 2 4二②	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（ある）	%
H30A 8六2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（とほさざるなし）	県平均62.0% 国平均63.0%
H28A 9七1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（追ひし）	県平均80.8% 国平均80.2%

2 条件に合わせて、話す内容をまとめたり、自分の考えを書いたりすることができるか。

昨年度の「記述式」の設問では、概ね書く力が身に付いている状況でした。昨年度と比較して、今年度の状況を見届けてみましょう。

<p>平成31年度 ①三 ○「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く</p> <table border="1"> <tr> <td>自校正答率（県）</td> <td>無解答率（県）</td> </tr> <tr> <td>_____%</td> <td>_____%</td> </tr> <tr> <td>(93.2%)</td> <td>(1.3%)</td> </tr> </table>	自校正答率（県）	無解答率（県）	_____%	_____%	(93.2%)	(1.3%)	<p>平成31年度 ②三 ○話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く</p> <table border="1"> <tr> <td>自校正答率（県）</td> <td>無解答率（県）</td> </tr> <tr> <td>_____%</td> <td>_____%</td> </tr> <tr> <td>(63.5%)</td> <td>(7.9%)</td> </tr> </table>	自校正答率（県）	無解答率（県）	_____%	_____%	(63.5%)	(7.9%)	<p>平成31年度 ③二 ○広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える</p> <table border="1"> <tr> <td>自校正答率（県）</td> <td>無解答率（県）</td> </tr> <tr> <td>_____%</td> <td>_____%</td> </tr> <tr> <td>(79.6%)</td> <td>(6.2%)</td> </tr> </table>	自校正答率（県）	無解答率（県）	_____%	_____%	(79.6%)	(6.2%)
自校正答率（県）	無解答率（県）																			
_____%	_____%																			
(93.2%)	(1.3%)																			
自校正答率（県）	無解答率（県）																			
_____%	_____%																			
(63.5%)	(7.9%)																			
自校正答率（県）	無解答率（県）																			
_____%	_____%																			
(79.6%)	(6.2%)																			

R 2 年度  
①三 卒業生から学ぶ会の最後に述べるお礼の言葉を書く

自校正答率	無解答率
_____%	_____%

R 2 年度  
③ 創作している俳句に入れる言葉を選択し、その言葉を選んだ理由を書く

自校正答率	無解答率
_____%	_____%

3 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりすることができるか。

「読むこと」については、昨年度の調査において「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことや、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。」と指摘されている。（平成31年度（令和元年度）

【中学校】報告書 p.8 参照）

この課題を踏まえて出題された問題②一、三、四から、生徒の「読む能力」を見届けましょう。

問題番号	出題の趣旨	正答率
②一	文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、内容を捉える	%
②三	文章の展開に即して内容を捉える	%
②四	文章の内容を捉え、書き手の考えを理解する	%

1 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法や判断の理由を数学的な表現を用いて数学的に説明することができるか。

昨年度、課題が見られた問題として「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる(6(2))」を挙げ、指導改善のポイント「共通点や類似点、相違点に着目させる」や「条件を変えて問う(問い返し)」を示しました。また、統合的に考察したり、絶えず考察の範囲を広げ追究し続けたりする授業改善を促してきました。(「指導改善資料 子どもの目線に立つ2019」参照)  
 数学的に説明する力が身に付いているか、次の2問を通して確認してみましょう。

6(2) (※問題一部・図省略)

1か月間で集まった紙パックの合計の重さを45000gとします。このとき、紙パックの枚数の違いがおよそ何枚になるかは、上のグラフから求めることができます。その方法を説明しなさい。ただし、実際に枚数の違いを求める必要はありません。

自校の正答率・無解答率

6(2) .

8(3) (※問題一部・図省略)

啓太さん「ヒストグラムの60分未満の階級の度数を見ると、8時台が27人で11時台が20人だね。だから、60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多いといえるね。」  
 春花さん「でも、階級の度数で判断していいのかな。8時台と11時台の総度数を見ると、60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多いとは言い切れないよ。」

8時台と11時台のヒストグラムを見ると、春花さん…と主張することもできます。その理由を、相対度数を使って説明しなさい。

自校の正答率・無解答率

8(3) .

2 【知識・理解】中央値、範囲について理解しているか。

このことは、これまでも課題となっており、確実な理解が図られているか見届けが大切です。

問題番号	問題の概要	正答率 (%)		
		自校	県平均	全国平均
H30A14(1)	最頻値は、資料の中で最も多く出てくる値であることを理解している		63.3	68.4
H30A14(2)	与えられた資料から中央値を読み取ることができる		71.4	74.0
H318(1)	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる		52.3	57.9
R25	<中央値についての理解> 男子生徒35人がハンドボール投げを行い、記録の中央値が24mだったことについて、正しく記述しているものを選ぶ			
R28(1)	<範囲についての理解>待ち時間の範囲を求める			

3 【技能】一次関数の変化の割合を求めることができるか。

関数領域において、 $x$ と $y$ の増加量や変化の割合を求めるなど、基礎的な技能の見届けが大切です。

問題番号	問題の概要	正答率 (%)		
		自校	県平均	全国平均
H3011(1)	一次関数 $y=ax+b$ について、 $x$ の値の増加に伴う $y$ の増加量を求めることができる		44.9	45.3
R24	<一次関数の変化の割合> $x$ の増加量と $y$ の増加量から一次関数の変化の割合を求める			

# 小・中学校 児童生徒質問紙調査

## 1. 昨年度調査で課題となった主な項目

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	回答割合		平成31年度			令和2 年度
				岐阜県	全国	自校	自校
2(13)	将来の夢や目標を持っている	①当てはまる	小 中	64.3 43.3	65.9 44.9		
2(14)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	①当てはまる	小 中	78.4 74.6	79.5 75.6		
8(45)	国語の勉強は好きだ	①当てはまる	小 中	21.0 20.9	26.5 24.6		
8(47)	国語の授業の内容はよく分かる	①当てはまる	小 中	38.5 27.2	41.2 28.4		
9(55)	算数（数学）の勉強は好きだ	①当てはまる	小 中	37.1 32.2	40.6 30.7		
9(57)	算数（数学）の授業の内容はよく分かる	①当てはまる	小 中	47.8 37.6	49.3 34.8		
9(59)	算数（数学）の授業で学習したことを、 普段の生活の中で活用できないか考える	①当てはまる	小 中	40.1 —	41.4 —		
10(67)	英語の勉強は好きだ	①当てはまる	小 中	— 28.0	— 29.0		

## 2. 児童生徒の状況の経年変化を捉えたい主な項目

令和2 質問番号	質問内容	回答割合		平成31年度			令和2 年度
				岐阜県	全国	自校	自校
1(1)	朝食を毎日食べている	①している	小 中	88.8 83.9	86.7 82.3		
1(4)	家の人と学校での出来事について話を する	①している	小 中	49.6 47.3	50.1 46.4		
2(11)	自分には、よいところがあると思う	①当てはまる	小 中	39.7 30.4	38.8 29.0		
2(12)	先生は、あなたのよいところを認めてく れていると思う	①当てはまる	小 中	44.8 37.0	43.1 31.3		
2(18)	いじめは、どんな理由があってもいけ ないことだと思う	①当てはまる	小 中	86.1 78.2	85.0 78.3		
3(20)	家で自分で計画を立てて勉強をして いますか。	①している	小 中	39.7 17.2	33.1 14.9		
3(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日 から金曜日）、1日当たりどれくらい の時間、勉強をしますか。	①3時間以上	小 中	9.3 13.4	12.4 9.9		
		②2時間以上、 3時間より 少ない …	小 中	20.8 29.3	16.9 25.6		
		…		…	…		
3(24)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日 から金曜日）、1日当たりどれくらい の時間、読書をしますか。	①2時間以上	小 中	6.4 5.2	7.0 4.8		
		②1時間以上、 2時間より 少ない…	小 中	10.8 8.1	11.3 7.6		
		…		…	…		
4(26)	今住んでいる地域の行事に参加して いる	①当てはまる	小 中	54.3 33.1	37.2 21.0		
4(27)	地域や社会をよくするために何をすべ きかを考えることがある	①当てはまる	小 中	19.3 12.8	18.9 11.5		

6(31)	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う	①当てはまる	小 中	35.0 35.1	33.0 29.3		
6(34)	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う	①当てはまる	小 中	25.5 22.7	24.7 18.1		
6(37)	学級の友達との間（生徒の間）で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う	①当てはまる	小 中	30.2 31.0	30.3 28.3		
7(42)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う	①当てはまる	小 中	35.6 34.7	30.1 25.3		
10(69)	小：これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会があった 中：これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった	①当てはまる	小 中	— 17.2	— 15.4		

### 3. 令和2年度調査で新たに加わった（再度加わった）主な項目

令和2 質問番号	質問内容		令和2 年度 自校
1(5)	家の人と進路などの将来のことについて話すことがありますか。	①よく話す	
1(6)	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	①きちんと守っている ⑤持っているが約束はない ⑥持っていない	
1(10)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。	①4時間以上 ②3時間以上、4時間より少ない ⑦持っていない	
3(23)	学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合も含みます。）で勉強をしていますか。	①学習塾に通っていない ②学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している …	
5(30)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。	①3時間以上 ②2時間以上、3時間より少ない… ⑦持っていない	
6(40)	授業で、調べたことや考えたことを800字ぐらい（中：1,200字程度）でまとめたことがある	①当てはまる	
8(53)	先生は、国語の授業で、自分のできているところや改善できそうなところがどこか教えてくれる	①当てはまる	
9(65)	先生は、算数（数学）の授業で、自分のできているところや改善できそうなところがどこか教えてくれる	①当てはまる	
10(68)	5年生まで（中：1, 2年生のとき）に受けた英語の授業では、英語で（話したり書いたりして、）自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた	①当てはまる	

※質問6の「(小) 5年生までに受けた授業について」「(中) 1, 2年生のときに受けた授業について」は、「(小) 6年生の7月までに受けた授業について」「(中) 3年生の7月までに受けた授業について」に読み替えて問い、コロナ対策による授業への影響について捉えて、今後の指導改善に生かしてください。

※児童生徒質問紙調査を実施した学校は、別紙に示したように9月15日までに、当該市町村教育委員会に結果の提供について御協力をお願いします。県全体の傾向をまとめ、後日分析結果を示す予定です。



# 小・中学校 学校質問紙調査

学校質問紙には、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」や「カリキュラム・マネジメント」の推進、「ICTを活用した学習状況」、「小・中学校、家庭や地域との連携状況」など、学校教育において大切にしたい内容が示されています。また、国語や算数・数学、英語の指導方法についても問われています。本質問内容を職員研修などで取り上げ、自校の教育課程の編成や日々の指導方法を見つめ直すきっかけにして欲しいと思います。

## 1. 学校規模等

## 2. 生徒指導等

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国 比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(7)	授業中の私語が少なく、落ち着いている		①そう思う	小中	46.9 69.8	38.8 53.2		
(8)	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした	▲	①よく行った	小中	18.4 54.4	20.8 49.5		
(11)	学校生活の中で、児童（生徒）一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行った		①よく行った	小中	72.1 69.2	59.8 55.1		

## 3. 学校運営に関する状況

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国 比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(12)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している	▲ ▲	①よくしている	小中	33.6 26.9	34.6 29.1		
(14)	児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している		①よくしている	小中	43.9 40.1	37.3 33.9		
(17)	学校として業務改善に取り組んでいる		①よくしている	小中	56.9 56.0	48.3 47.4		

## 4. 教職員の資質能力の向上

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国 比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(18)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている	▲	①よくしている	小中	65.6 63.2	70.1 63.2		
(19)	授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている		①よくしている	小中	75.6 64.8	75.2 56.0		
(20)	児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている	新	①よくしている	小中	-	-	-	

## 5. 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国 比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(26)	児童（生徒）は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている		①そう思う	小 中	21.4 23.6	16.9 14.5		
(27)	児童（生徒）は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができている						新	①そう 思う
(28)	児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができている						新	①そう 思う
(29)	児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている						新	①そう 思う
(30)	児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができている						新	①そう 思う
(31)	授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた						新	①よく行 った
(32)	児童（生徒）の発言や活動時間を確保して授業を進めた						新	①よく行 った
(33)	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした		①よく行った	小 中	22.8 23.6	22.2 20.8		
(34)	各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた	▲ ▲	①よく行った	小 中	13.6 13.7	18.1 14.5		
(35)	知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れた						新	①よく行 った
(36)	総合的な学習の時間や各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800字（1200字）程度で児童（生徒）にまとめさせたことがあった						新	①よく行 った
(37)	調査対象である第6学年（第3学年）の児童（生徒）に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか						新	①週に 1回程 度、また はそれ 以上

## 6. 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国 比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(38)	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている	▲ ▲	①よくしてい る	小 中	23.6 28.6	29.1 32.7		
(39)	学級生活をよりよくするために、学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っている		①よくしてい る	小 中	46.6 62.6	40.2 36.8		
(41)	特別の教科 道徳において、児童（生徒）自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている	▲ ▲	①よくしてい る	小 中	36.9 30.2	40.2 38.6		

## 7. 学習評価

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	回答		令和2 年度
				自校
(42)	児童（生徒）のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したこと の意義や価値を実感できるようにした	新	①よく 行った	
(43)	創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価 規準や評価方法の教師間での明確化・共有化や、学年会や教科等部 会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をした	新	①よく 行った	
(44)	授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童（生徒）に示し、授業の 最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた	新	①よく 行った	

## 8. 国語科の指導方法

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国 比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(45)	補充的な学習の指導	▲ ▲	①よく行っ た	小 中	24.7 24.7	31.9 27.8		
(46)	発展的な学習の指導	▲	①よく行っ た	小 中	5.7 15.9	9.2 15.1		
(47)	言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業						新	①よく 行った
(48)	目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業						新	①よく 行った
(49)	小：目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確 にして書いたり書き表し方を工夫したりする授業 中：目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書 いたり表現を工夫して書いたりする授業						新	①よく 行った
(50)	小：目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを 広げたりする授業 中：目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり 深めたりする授業						新	①よく 行った

## 9. 算数（数学）科の指導方法

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国 比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(51)	補充的な学習の指導	▲ ▲	①よく行っ た	小 中	53.4 40.1	53.7 41.5		
(52)	発展的な学習の指導	▲ ▲	①よく行っ た	小 中	13.0 17.0	16.9 19.1		
(53)	実生活における事象との関連を図っ た授業	▲	①よく行っ た	小 中	8.9 16.5	16.5 15.2		
(54)	小：具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や 図形について実感を伴った理解をする活動 中：観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質 を見いだす活動						新	①よく 行った
(55)	小：公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童がそのわけ を理解できるように工夫していた 中：公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できる ように工夫していた						新	①よく 行った
(56)	問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導						新	①よく 行った

## 1 0. 英語の指導方法

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	回答		令和2 年度
				自校
(57)	小：調査対象である第6学年の児童に対する英語の指導に当たって、前年度までに、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に取り組みましたか。 中：調査対象である第3学年の生徒に対する英語の指導に当たって、前年度までに、英語で話したり書いたりして、生徒自身が互いの考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に取り組みましたか。	新	①よく行った	
(58)	小：学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会などを十分に設けていますか。 中：全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実などの授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善などの学習評価の改善に取り組んでいますか。	新	①当てはまる	

## 1 1. ICTを活用した学習状況

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(59)	教員が、1クラス当たり、大型提示装置（プロジェクター、電子黒板など）などのICT機器を活用した授業		①ほぼ毎日 ②週1回以上	小 中	39.3 41.7 47.3 35.7	37.1 43.7 43.3 37.5		
(60)	児童（生徒）が、コンピュータなどのICT機器を使用した授業		①ほぼ毎日 ②週1回以上	小 中	— —	— —	— —	

## 1 2. 特別支援教育

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(61)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象である第6学年（第3学年）児童（生徒）に対する授業の中で、児童（生徒）の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか。	▲	①よく行った	小 中	39.3 43.4	40.1 38.8		

## 1 3. 小学校教育と中学校教育との連携

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(62)	前年度までに、近隣等の中（小）学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った	▲ ▲	①よく行った	小 中	14.9 19.8	22.8 26.1		
(64)	平成31年度（令和元年度）の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中（小）学校と成果と課題を共有した	▲ ▲	①よく行った	小 中	19.5 20.3	19.6 20.7		

## 1 4. 家庭や地域との連携等

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国 比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(65)	職場見学や職場体験活動を行っていますか。	▲	①行っている	小 中	49.6 99.5	57.3 99.0		
(66)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか。		①よくしている	小 中	35.0 31.9	28.1 25.3		
(67)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか。		①よく参加している	小 中	72.1 50.0	64.6 38.2	—	
(68)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(67)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。		①よく行った	小 中	42.3 30.2	39.1 24.7		

## 1 5. 家庭学習

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国 比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(70)	家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図る		①よく行った	小 中	56.4 45.1	47.0 36.9		
(71)	家庭学習の取組として、学校では、児童（生徒）に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教える		①よく行った	小 中	62.6 50.0	49.9 38.9		
(72)	家庭学習の取組として、学校では、児童（生徒）が行った家庭学習の課題について、その後の教師の指導改善や児童（生徒）の学習改善に生かす	新	①よく行った	小 中	—	—	—	

## 1 6. 調査結果の活用

令和2 質問番号 ※小中同じ	質問内容	全国 比	回答割合		平成31年度			令和2 年度
					岐阜県	全国	自校	自校
(73)	平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した		①よく行った	小 中	48.5 40.1	42.5 34.5		
(74)	平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含みます。）	▲ ▲	①よく行った	小 中	32.5 28.6	36.9 33.5		

※学校質問紙調査を実施した学校は、別紙に示したように9月15日までに、当該市町村教育委員会に結果の提供について御協力をお願いします。県全体の傾向をまとめ、後日分析結果を示す予定です。